

第3回学校関係者評価委員会兼信頼される学校作りのための委員会について(報告)

平成28年2月18日(木)に表記の会が実施されました。午後の短い時間ではありましたが、生徒、保護者、職員、地域の皆様にお願ひしたアンケートを基に、委員の皆様から忌憚のないご意見をいただきました。中には、継続的な取り組みを要する内容もありましたが、できることはすぐに改善して今後の枕崎高校の教育活動に生かして参ります。質疑や意見の主なものは以下のとおりです。

1 総合学科の特色について

- ・総合学科の特色が見えづらいので以下の点を外部にもっとアピールしてほしい。
- ・普通科・商業科の要素をもっている。
- ・補助金制度で資格取得に更に力をいれる。手に職を持たせる。
- ・少人数できめ細やかな指導が受けられる。

2 自宅学習を促進するために

- ・学校の雰囲気をもっと勉強するイメージに変えていく。
- ・段階的に目に見えるイメージも持たせる。(先輩たちの例を挙げる。)

3 生徒の家庭環境について

- ・親の間で経済格差が広がっており、就職に有利な専門高校が人気になっているのではないか。

4 1年次の進路決定について

- ・1年の9月・11月に2年次からの方向性を決めていくが、3分の1は未定の状況。
→中学3年生のうちからキャリア教育をしっかり受けて高校に来てほしい。
→入学時のPTA総会で親子で進路について半年間しっかり話し合う機会をもつように説明をしておく必要があるのではないか。

5 学年別の最終評価について

- ・1年生 ビジネスマナー検定に全員で挑戦したことはとてもよいことなので、来年度は合格者を倍にすることを目標にして、引き続き資格取得に挑戦させてほしい。
- ・2年生 中間学年ということで中だるみになりがちだが、生活習慣をしっかり身につけさせて、けじめのある高校生活を送らせてほしい。服装検査など厳しく指導してよい。
- ・3年生 けじめのある高校生活を送ることが、進路実現につながるということが生徒たちには見えづらい。先輩たちの例を挙げ、将来像を見せる指導をしてほしい。